

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		56,617	56,181		-436
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	935		935
	地方債	13,800	13,400		-400
	その他	0	5,000		5,000
	一般財源	42,817	36,846		-5,971

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
中心市街地の再活性化

事業開始の背景・経緯
中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街団体が実施するイベントや商工会議所、中小企業団体中央会の経営指導事業等を支援するとともに、新たに創業する事業者への支援を行うことにより、中心市街地の賑わいを創出していく。

事業概要
各種団体補助金・負担金 35,267千円 花巻商工会議所事業補助金、まちの駅連絡協議会会費、岩手県中小企業団体中央会補助金 商店街活性化イベント補助金 4,377千円 商店街団体が実施する賑わいづくり13イベントへの補助 まちなか創業支援 2,607千円 中心市街地で未利用店舗棟を活用して新たに創業する事業者への補助及び経営指導 都市機能誘導区域における物件情報調査 日本ワインフェスティバル花巻大迫の開催 13,930千円 北海道・東北・関東・甲信越地方のワイナリーを招聘して、5/25・5/26に有料飲食会を開催

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	伊藤昌俊
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況
中心市街地の賑わいづくりを進めるためには、空き店舗の不動産情報の把握に加え、現在事業を行っている事業所の今後の経営方針等の把握も必要。

事業手法の詳細 1
商店街賑わいづくり事業 56,181千円
1 各種団体補助金・負担金 35,267千円 (1) 花巻商工会議所補助金 32,500千円 市内中小企業者の経営指導や部会活動等を支援。(会員数 2,061名) (2) まちの駅連絡協議会会費 60千円 まちの駅いしどりや酒蔵交流館が加入。(平成19年9月) まちの駅情報の共同発信、イベント・シンポジウム、特産品紹介・研修事業等。(会員数1,677名) (3) 岩手県中小企業団体中央会補助金 2,707千円 中小企業の組織強化、経営向上のための経営指導等を実施。 (市内38組合、4,540事業所)
2 商店街活性化イベント補助金 4,377千円 商店街団体が実施する賑わいづくりイベント事業補助 R1実績 9団体、13イベント、補助額 4,377千円 補助率:対象経費の1/2 上限額:500千円(2イベントの場合は上限1,000千円) 事業主体:商店街振興組合、任意商店街、実行委員会等
3 まちなか創業支援事業 2,607千円 (1) まちなか創業支援 685千円 中心市街地エリアの未利用店舗を賃借して新規創業する事業者に対し、改装経費等の一部補助。 R1実績 2件、補助額 685千円 補助率:1/2 上限額:500千円 (2) 創業後の経営指導 52千円 まちなか創業の補助事業者に対し、営業開始後1年以内に中小企業診断士による経営指導を実施。 指導実績 4件 謝礼金:13千円×4件 (3) 都市機能誘導区域物件調査 1,870千円 都市機能誘導区域内における物件情報の現状を把握し、まちなか創業支援等につなげる。 調査エリア:上町・大町エリア 95件(土地 35件、建物 60件)
4 日本ワインフェスティバル花巻大迫開催 13,930千円 日本ワインフェスティバル大迫実行委員会負担金 13,400千円 臨時補助員賃金 530千円 令和元年5月25・26開催、北海道、東北、関東、甲信越地方の41ワイナリーの有料試飲

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174050	商店街利便性向上事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,787	3,551		-236
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,787	3,551		-236

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

中心市街地の再活性化

事業開始の背景・経緯

中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街における駐車場等の利便施設の運営や、商店街が実施する共同施設の改修を補助し、利便性向上を図る。

事業概要

市民ふれあい広場運営 1,981千円
 中心市街地（一日市、大迫、石鳥谷、東和）での買物客が休憩等に利用する利便施設の運営
 公共駐車場確保対策 1,420千円
 大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保
 商店街共同施設補修事業 150千円
 商店街が設置した共同施設の補修経費への補助

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	伊藤 昌俊
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 商店街利便性向上事業 3,551千円
- 市民ふれあい広場運営 1,981千円
 商店街の利便施設として運営
 - ・一日市商店街（一日市商店街振興組合） 780千円
 - ・大迫町商店街（あねっこの会） 222千円
 - ・石鳥谷中央通り商店街（石鳥谷中央通り商店街振興会） 473千円
 - ・東和町商店街（東和町土沢商店街商店会連絡会） 506千円
 - 公共駐車場確保対策 1,420千円
 大迫地区の中心市街地来街者用の駐車場を確保
 委託料（除排雪） 18千円
 土地借上料 1,402千円
 - ・仲町駐車場 区画数 23 賃借料 709千円
 - ・上町駐車場 区画数 20 賃借料 350千円
 - ・川原町駐車場 区画数 13 賃借料 343千円
 - 商店街共同施設補修事業補助金 150千円
 商店街の共同施設の補修経費に対して補助
 R1補助実績 1件、補助額 150千円
 補助率：1/2
 対象施設：街路灯、アーケード、駐車場等

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174060	商店街景観形成事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		12,391	12,400		9
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	4,000	4,000		0
	その他	0	0		0
	一般財源	8,391	8,400		9

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

中心市街地の再活性化

事業開始の背景・経緯

中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街団体が実施するイベントや商工会議所、中小企業団体中央会の経営指導事業等を支援するとともに、新たに創業する事業者への支援を行うことにより、中心市街地の賑わいを創出していく。

事業概要

中心商店街顔づくり交付金 6,000千円
大迫、石鳥谷、東和それぞれの中心商店街の顔づくりに取り組み商店街等への支援
賢治の広場運営 6,400千円
中心市街地における市民交流の場である賢治の広場の運営

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	伊藤 昌俊
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

大迫、石鳥谷、東和の3地域から継続の要望がある。

事業手法の詳細1

商店街景観形成事業 12,400千円

- 中心商店街顔づくり交付金 6,000千円
 - 大迫地域「宿場浪漫のまち おおはさま」 2,000千円
 実施主体：大迫地域中心市街地顔づくり委員会
 目指す姿：宿場浪漫のまちをテーマとし、来訪者に昔の宿場町の面影を感じてもらえるような和風レトロのまち並みや歴史あるさまざまなイベント等を活用し、来訪者と商店街が一体となった明るい商店街を目指す。
 内容：歴史ある町並み保存活用
まつりと賑わいづくり
おもてなしの商店街づくり
商店街の整備
空き店舗の活用
 - 石鳥谷地域「南部杜氏の里に全員集合」 2,000千円
 実施主体：石鳥谷中央通り商店街振興会
 目指す姿：酒蔵交流館を拠点として、住民に酒蔵の雰囲気を経験できるようにすることで南部杜氏の里であることを身近なものと印象付け、地域の伝統を継承する一方、市内高校生の意見を取り入れ、新しい取り組みも行うことで老若男女を問わず楽しめる賑わいのあるまちを目指す。
 内容：酒蔵まつり、酒蔵映画祭の実施
イルミネーション装飾事業の実施
青雲チャレンジ（花北青雲高校チャレンジショップ）の実施
 - 東和地域「アートのまち365」 2,000千円
 実施主体：土沢商店街商店会連絡会（町内商店会、土澤まちづくり会社）
 目指す姿：イベント期間中だけでなく、一年365日アートを感じる商店街を目指す
 内容：まちテクギャラリーつちざわ（年4回街なかでアートギャラリー開催）
アートのまち情報発信（アート情報誌「木の間通信」4回発行）
アートのまちお土産開発普及（事業者、地場産業者連携で商品開発）
アートのまち夕涼み事業（屋外イベントの開催）
- 賢治の広場運営 6,400千円
 設置場所：岩田ビル1階（上町） 賃借料 2,031千円、需用費 828千円
 委託先：花巻市広告美術協会 委託料 3,541千円
 運営状況：商店街の休憩施設、中心市街地でのイベントの拠点として運営

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174230	プレミアム付商品券事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	67,471		67,471
財源 内訳	国費	0	67,471		67,471
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	年度	~	年度
------	-------	------	----	---	----

部重点施策における目標

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

国にの消費税増税に伴う影響を緩和する措置

--	--	--	--	--	--

事業概要

プレミアム付商品券販売 60,088千円
 消費税増税による低所得者及び3歳未満の子がいる子育て世帯へのプレミアム付商品券（プレミアム率20%）を販売。
 （1人あたりの購入限度額は2万円。プレミアム分の上限5千円を上乗せした最大2万5千円の額面として販売。）

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	伊藤昌俊
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細1

プレミアム付商品券事業 60,088千円

- 1 プレミアム付商品券事業費 41,566千円
 - (1)対象者 20,870人（非課税者18,804人、子育て世帯2,066人）
 - (2)非課税者申請者 8,545人（申請率45.4%）
 - (3)引換券交付 10,530人（非課税者8,464人、子育て世帯2,066人）
 - (4)商品券販売額 167,088,000円 - A（販売率79.3%）
 プレミアム付額面 A × 100/80 = 208,860,000円
 - (5)換金額 207,829,000円 - B
 - (6)プレミアム分 B × 20/100 = 41,565,800円 事業費

- 2 プレミアム付商品券事務費 18,522千円

時間外手当 342千円
 賃金 3,516千円
 需用費 1,525千円
 役務費 2,540千円
 委託料 10,499千円
 備品購入費 100千円

事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当課長 伊藤 昌俊

(単位：千円)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	07	01	02	178550	プレミアム付商品券事業費(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			7,383		7,383
財源 内訳	国・県		7,383		7,383
	地方債				
	その他				
	一般財源				

※特定財源の内訳

プレミアム付商品券交付事業補助金 (10/10)

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 30 年度 ~ 平成 31 年度]

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

国にの消費税増税に伴う影響を緩和する措置

事業概要

○プレミアム付商品券販売 7,383千円
消費税増税による低所得者及び3歳未満の子がいる子育て世帯へプレミアム付商品券（プレミアム率20%）を販売。
（1人あたりの購入限度額は2万円。プレミアム分の上限5千円を上乗せした最大2万5千円の額面として販売。）

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

プレミアム付商品券販売事業 7,383千円

- 1 プレミアム付商品券事務費 7,383千円
 - ・需用費 448千円
 - ・役務費 1,215千円
 - ・委託料 5,720千円

事業概要

- (1) 対象者 20,870人（非課税者18,804人、子育て世帯2,066人）
- (2) 非課税申請者 8,545人（申請率45.4%）
- (3) 引換券交付 10,530人（非課税者8,464人、子育て世帯2,066人）
- (4) 商品券販売額 1,670,800円…A（販売率79.3%）
※プレミアム付額面 A×100/80=208,860,000円
- (5) 換金額 20,782,900円…B
- (6) プレミアム分 B×20/100=4,565,800円